

- 関西の医療機器メーカーのニーズに、関西のものづくり企業が応えた関西発の医療機器！



これまでにないタッチパネルを使用した排液管理システムを提供することで医療従事者の負担を軽減し、医療安全をより向上させることに寄与

◆製品名

医療用吸引器『クーデックバイロン』

◆製品の特徴・背景

- 本製品は、「①手術中に排泄された血液や体液を吸収して貯めるディスポーザル吸引器(医療機器)」と「②排液量が測れるモニター及び吸引器を載せる架台(非医療機器)」が一体になったものです。
- ①吸引器には、「凝固剤一体型の密閉構造」という特徴があります。これにより吸引終了後には排液を大気にさらすこともなく、また上部を指一本で操作し、凝固剤を落下させ固めることで、安心して排液を移動・焼却処分へと繋げることができます。
- 1990年に、大研医器(株)より、本製品の前身モデルである「フィットフィックス」が販売された頃、HIVなどの感染症患者を扱う際の吸引排液は感染リスクであり、医療現場では「触れない・さらさないこと」が一番に求められていました。
- 当時、吸引器と凝固剤が一体になった製品はなく、大研医器(株)が、初めてこのニーズに対応する製品を開発し、現在では、世界13カ国、年間累計600万本の販売実績となっています。2020年に改良版を販するにあたり、②吸引器を載せる架台を作れる企業を探していました。

◆開発開始：2018年

◆事業開始：2020年

◆ 1. 参入の経過

- (株)仁張工作所は、2006年に、「東大阪市優良企業表彰」を受賞するなど、東大阪市のものづくり産業を支える企業であり、精密な板金加工技術を強みとして日々、活動をしています。
- 近年においては、培ったノウハウを活かせる付加価値の高い事業への展開を検討しており、そうした中、2019年に、東大阪市が進める医工連携プロジェクト創出事業を通じて、大研医器(株)のニーズ紹介を受けました。
- これまでに「病院のキャビネット」など医療分野も扱ってきた実績と、多くの製品でトップシェアを誇る医療機器メーカーからの依頼であったこともあり、マッチングへと繋がりました。

◆ 2. 新たな現場ニーズから支援機関へ

- 本製品は、大研医器(株)が早期に上市をしたいという思いを持っており、スピード感のある対応が求められていました。
- (株)仁張工作所は、依頼内容を素早く試作し、イメージを具体化させるだけではなく、本製品の設計図を見ながら、行程の簡略化や溶接方法の変更を提案するなど、メーカーに寄り添った対応で、信頼関係の構築・契約締結へと繋げていきました。

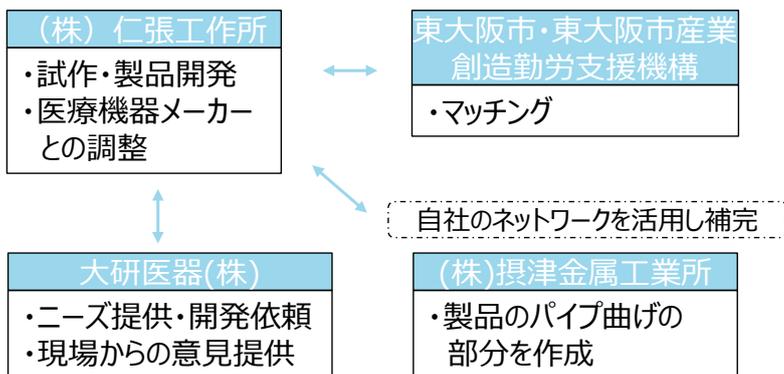
◆ 3. 支援機関を活用した成果

- 本架台は、吸引器を支える箇所にパイプ曲げの技術が求められており、自社では対応できないところでした。
- (株)仁張工作所は、日頃から東大阪市内の企業間で、ネットワーク体制を構築しており、多くの企業に依頼をしたり、依頼を受けたりしながら、お互い支え合っていました。今回、その中の「(株)摂津金属工業所」に依頼することで、架台のパイプ曲げの箇所を補完することができました。
- またコスト削減の観点から、これまで外注していた塗装工程を自社で対応するなど、大研医器(株)が求める品質保証を守りながら、費用のバランスを取っていきました。

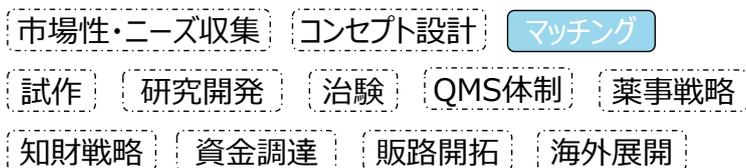
◆ 4. 課題・課題の乗り越え方

- 開発から販売にかけて、多くの課題を乗り越えてきました。
 - ①市場性の有無の確認：トップシェアを誇る製販ドリブン案件
 - ②製品開発への素早い対応：これまでの実績と迅速な試作
 - ③医療機器メーカーとのやり取り：スピード感のある対応だけではなく、メーカーに寄り添った対応で信頼関係を構築
 - ④自社で対応できない部分：日頃のネットワークを活用
- 仁張常務取締役は、ものづくり企業の医療機器分野参入にあたって、「医療機器分野だからということではなく、自社の技術・実績等の強みを意識して、いかに顧客への提案力に繋げていくのが大事」と語っています。

◆ 5. 体制図



◆ 6. 活用した支援機関のサービス



◆ 7. 活用した補助金等

・特になし

参入への道程

1990年

- 大研医器(株)が、世界初、吸引器と凝固剤が一体となった「フィットフィックス」を販売
- これにより、HIVなどの感染症患者を扱う際の、感染リスクを低減

2006年

- (株)仁張工作所が、東大阪市優良企業表彰を受賞する

2018年

- 大研医器(株)が、「フィットフィックス」の改良版の開発を開始

2019年

- 東大阪市が進める医工連携プロジェクト創出事業を通じて、大研医器(株)と(株)仁張工作所がマッチングし、連携が実現

2020年

- 改良版「クーデックバイロン」の完成・販売
- 「フィットフィックス」は世界13カ国、年間累計600万本の販売実績

株式会社仁張工作所



- 創業 1964年10月
- 資本金 25,000千円
- 従業員 85人
- 本社 大阪府東大阪市水走3丁目14番6号
- 代表者 代表取締役社長 仁張 正之
- URL <https://www.nimbari.co.jp/>

【企業情報】

当社は、創業以来、主としてスチールやステンレスの薄鋼板を加工して各種保管庫、鋼製家具・什器等を設計・製作するほか、産業関連装置等の箱物板金や各種精密板金部品を手がけてまいりました。

現在では多業界・多業種における1次サプライヤーとしての板金加工部品供給を含めて、「板金加工の専門家集団」として、社会に必要とされる企業づくりに取り組んでおります。



(公財)東大阪市産業創造勤労支援機構



- 設立 1984年12月
(2013年5月に公益財団法人へ移行)
- 代表者 理事長 西村 弘毅
- 住所 東大阪市荒本北1-4-17
クリエイション・コア東大阪 北館3階
- 支援対象 東大阪市内の中小企業
- 主な支援
 - モノづくりワンストップ相談・医工連携プロジェクト創出事業など中小企業振興事業
 - 市立産業技術支援センター・市立勤労市民センターなどの運営事業
- 問い合わせ先
 - TEL : 06-4309-2301
 - FAX : 06-4309-2303
 - URL : <https://hispa.h-osaka.jp/129.php>